



平成28年4月11日

各 位

会 社 名 株式会社フジ
代表者名 代表取締役社長 尾崎 英雄
(コード番号 8278 東証第一部)
問合せ先 専務取締役専務執行役員
経営企画担当 佐伯 雅則
(電話番号 089-922-8112)

(訂正)「平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成27年1月7日に開示いたしました「平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 訂正の理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成28年4月11日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上



(訂正後)

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フ ジ
 コード番号 8278 URL <http://www.the-fuji.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)尾崎 英雄
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 企画・開発本部長 (氏名)佐伯 雅則 (TEL) (089)922-8112
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	231,654	0.1	3,211	1.3	3,798	△0.2	2,245	23.1
26年2月期第3四半期	231,306	△0.2	3,169	2.3	3,807	11.4	1,823	54.9

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 3,582 百万円 (△10.2%) 26年2月期第3四半期 3,991 百万円 (180.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	63.63	—
26年2月期第3四半期	51.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	165,930	62,774	37.7
26年2月期	156,292	59,088	37.8

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 62,648 百万円 26年2月期 59,088 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	7.50	—	7.50	15.00
27年2月期	—	7.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	313,000	△0.0	6,000	25.7	6,500	19.5	3,400	44.7	96.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期3Q	35,300,560株	26年2月期	35,300,560株	
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	21,135株	26年2月期	20,273株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期3Q	35,279,880株	26年2月期3Q	35,280,697株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年11月30日)におけるわが国経済は、政府の経済対策や日本銀行による追加金融緩和策により、株価の上昇や一部の企業収益の改善は見られたものの、一方で、円安の進行による原材料価格の高騰など先行き不透明感が増しています。小売業界におきましては、消費増税後の個人消費の低迷や天候不順の影響などにより、依然として厳しい状況が続きました。

このような環境のなかで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、経営ビジョン「中四国くらし密着ドミナント(※)」のもと、地域の豊かなくらしづくりと地域社会の発展に貢献できる企業集団を目指し、各社の有する経営資源を最大限に活用し、地域のお客様のくらしに密着した店舗及び事業の構築を推進しています。(※ドミナント・・・一定の地域において、占有率を高め同業他社と比較して優位性を確保する戦略)

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は2,316億54百万円(前年同期比0.1%増)となりました。営業利益は32億11百万円(前年同期比1.3%増)、経常利益は37億98百万円(前年同期比0.2%減)、四半期純利益は22億45百万円(前年同期比23.1%増)となりました。

(連結業績)

(単位：百万円)

	平成26年2月期第3四半期		平成27年2月期第3四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	231,306	0.2%減	231,654	0.1%増
営業利益	3,169	2.3%増	3,211	1.3%増
経常利益	3,807	11.4%増	3,798	0.2%減
四半期純利益	1,823	54.9%増	2,245	23.1%増

セグメント別の状況は、次のとおりです。

【小売事業】

総合小売業では、平成26年度の経営方針を『お客様満足の実現』とし、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくり、経営基盤強化に向けたコスト構造の改革、新しい市場機会の開拓を推し進めています。

店舗では、4月にマルシェ事業の2号店として海産物を主体とする「瀬戸内海響市場エフ・マルシェ」(愛媛県松山市)を出店しました。既存店では、「エミフルMASAKI」(愛媛県伊予郡松前町)において、3月から7月にかけて全体の8割にあたる約160店のテナントをリニューアルする大規模な改装を行いました。「フジグラン北島」(徳島県板野郡北島町)においても大型テナントを導入する改装を行いました。さらに、「フジ砥部原町店」(愛媛県伊予郡砥部町)、「フジ伊予店」(愛媛県伊予市)、「フジグランナタリー」(広島県廿日市市)の改装を行うなど引き続き既存店の活性化と収益力向上に取り組みました。また、株式会社エディオンとのFC契約に基づき、第2号店として家電専門店「エディオンフジグランナタリー店」をフジグランナタリー内に新設いたしました。

お客様の多様化するライフスタイルに対応するため、ネットスーパー「おまかせくん」においては、配達エリアを拡大するとともにサービスの拡充を図っています。

昨年より発行を開始した電子マネー機能搭載の新カード「エフカ」において、愛媛県のご協力のもと、県のイメージアップキャラクター「みきゃん」をデザインした新たなご当地カードを発行するなど、新規カード会員の獲得に取り組みました。

また、当社は、7月に株式会社エービーシー及び株式会社スーパーゼットと事業譲渡基本合意契約を締結し、譲受会社として株式会社フジマート四国(完全子会社)を設立しました。これにより、両社が運営する5店舗を譲り受け、9月1日より事業を開始しました。

これらの結果、小売事業の営業収益は2,274億37百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

【小売周辺事業】

総合フィットネスクラブ事業では、株式会社フジ・スポーツ&フィットネスが、当社より事業を承継し、3月より事業を開始しています。地域のお客様に圧倒的に支持され続けるビジネスモデルの構築に取り組んでいます。なお、3月に「フィッタNAVI北斎院店」(愛媛県松山市)を新設しました。

また、青果卸売業を営む株式会社フジ・アグリフーズを第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めていません。

これらの結果、小売周辺事業の営業収益は232億17百万円(前年同期比41.1%増)となりました。

【その他】

不動産賃貸業では、引き続き厳しい経営環境で推移しました。また、総合ビルメンテナンス業を営む株式会社フジセキュリティを第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めています。

これらの結果、その他事業の営業収益は70億42百万円(前年同期比233.1%増)となりました。

(注) セグメント別の営業収益には、売上高及び営業収入を含め、セグメント間の取引も含めています。

また、記載金額には、消費税等を含めていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、現金及び預金が37億55百万円、有形固定資産が45億96百万円増加したことなどにより1,659億30百万円となり、前連結会計年度末と比較し96億37百万円増加しました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金が51億60百万円、短期借入金が40億10百万円増加し、一方で、長期借入金が61億25百万円減少したことなどにより1,031億55百万円となり、前連結会計年度末と比較し59億51百万円増加しました。

純資産の残高は、627億74百万円となり、前連結会計年度末と比較し36億86百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月6日に発表した通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(子会社の設立)

当社は、次のとおり新会社を設立しました。

1. 目的

株式会社エービーシー及び株式会社スーパーゼットが運営する5店舗の譲受会社として、当社全額出資による新会社を設立しました。なお、9月1日より新会社にて事業を開始しています。

2. 設立した会社の概要

- (1) 商号：株式会社フジマート四国
- (2) 事業内容：スーパーマーケット事業
- (3) 設立年月日：平成26年7月14日
- (4) 本社所在地：愛媛県松山市宮西一丁目2番1号
- (5) 代表者の役職氏名：代表取締役社長 永井 信章
- (6) 資本金：50百万円
- (7) 決算期：2月
- (8) 株主構成及び持分比率：当社 100%

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,222	8,977
受取手形及び売掛金	1,451	2,185
営業貸付金	1,521	1,180
商品	11,164	12,689
その他	2,654	2,962
貸倒引当金	△355	△303
流動資産合計	21,658	27,692
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	51,216	50,486
土地	32,197	35,797
その他（純額）	5,941	7,666
有形固定資産合計	89,354	93,950
無形固定資産	6,248	6,016
投資その他の資産		
差入保証金	12,841	11,516
建設協力金	7,463	6,567
その他	18,726	20,189
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	39,030	38,270
固定資産合計	134,633	138,238
資産合計	156,292	165,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,762	22,922
短期借入金	15,344	19,354
未払法人税等	1,214	372
賞与引当金	858	1,831
商品券回収損引当金	123	129
その他	11,848	12,047
流動負債合計	47,151	56,658
固定負債		
長期借入金	31,168	25,042
退職給付引当金	1,438	1,491
役員退職慰労引当金	302	329
利息返還損失引当金	685	495
長期預り保証金	11,629	11,222
資産除去債務	2,818	2,882
その他	2,010	5,033
固定負債合計	50,052	46,497
負債合計	97,203	103,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,921	15,921
資本剰余金	16,257	16,257
利益剰余金	23,758	25,989
自己株式	△36	△37
株主資本合計	55,901	58,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,193	4,523
繰延ヘッジ損益	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	3,187	4,518
少数株主持分	-	126
純資産合計	59,088	62,774
負債純資産合計	156,292	165,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	217,013	217,816
売上原価	167,403	167,814
売上総利益	49,609	50,002
営業収入		
不動産賃貸収入	4,674	4,559
その他の営業収入	9,619	9,279
営業収入合計	14,293	13,838
営業総利益	63,902	63,840
販売費及び一般管理費	60,733	60,629
営業利益	3,169	3,211
営業外収益		
受取利息	158	136
受取配当金	187	339
持分法による投資利益	237	238
未請求ポイント券受入額	220	77
その他	500	363
営業外収益合計	1,304	1,155
営業外費用		
支払利息	562	463
商品券回収損引当金繰入額	55	54
その他	48	51
営業外費用合計	666	569
経常利益	3,807	3,798
特別利益		
固定資産売却益	-	10
投資有価証券売却益	42	1,246
特別利益合計	42	1,257
特別損失		
固定資産除売却損	64	196
リース解約損	4	-
減損損失	669	1,152
建設協力金解約及び変更損	3	33
店舗解約損失	16	1
特別損失合計	758	1,383
税金等調整前四半期純利益	3,091	3,671
法人税等	1,267	1,411
少数株主損益調整前四半期純利益	1,823	2,259
少数株主利益	-	14
四半期純利益	1,823	2,245

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,823	2,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,167	1,327
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△5
その他の包括利益合計	2,167	1,322
四半期包括利益	3,991	3,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,991	3,567
少数株主に係る四半期包括利益	-	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



(訂正前)

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フ ジ
 コード番号 8278 URL <http://www.the-fuji.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)尾崎 英雄
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 企画・開発本部長 (氏名)佐伯 雅則 (TEL) (089)922-8112
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	230,438	0.1	3,132	2.0	3,733	0.1	2,195	25.2
26年2月期第3四半期	230,043	△0.2	3,069	2.8	3,727	12.1	1,753	59.9

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 3,524 百万円 (△9.7%) 26年2月期第3四半期 3,905 百万円 (192.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	62.24	—
26年2月期第3四半期	49.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	164,930	64,584	39.0
26年2月期	155,585	60,956	39.1

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 64,458 百万円 26年2月期 60,956 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	7.50	—	7.50	15.00
27年2月期	—	7.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	313,000	0.4	6,000	26.7	6,500	20.1	3,400	44.7	96.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年2月期3Q	35,300,560株	26年2月期	35,300,560株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年2月期3Q	21,135株	26年2月期	20,273株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期3Q	35,279,880株	26年2月期3Q	35,280,697株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年11月30日)におけるわが国経済は、政府の経済対策や日本銀行による追加金融緩和策により、株価の上昇や一部の企業収益の改善は見られたものの、一方で、円安の進行による原材料価格の高騰など先行き不透明感が増しています。小売業界におきましては、消費増税後の個人消費の低迷や天候不順の影響などにより、依然として厳しい状況が続きました。

このような環境のなかで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、経営ビジョン「中四国くらし密着ドミナント(※)」のもと、地域の豊かなくらしづくりと地域社会の発展に貢献できる企業集団を目指し、各社の有する経営資源を最大限に活用し、地域のお客様のくらしに密着した店舗及び事業の構築を推進しています。(※ドミナント・・・一定の地域において、占有率を高め同業他社と比較して優位性を確保する戦略)

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は2,304億38百万円(前年同期比0.1%増)となりました。営業利益は31億32百万円(前年同期比2.0%増)、経常利益は37億33百万円(前年同期比0.1%増)、四半期純利益は21億95百万円(前年同期比25.2%増)となりました。

(連結業績)

(単位：百万円)

	平成26年2月期第3四半期		平成27年2月期第3四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	<u>230,043</u>	0.2%減	<u>230,438</u>	0.1%増
営業利益	<u>3,069</u>	2.8%増	<u>3,132</u>	2.0%増
経常利益	<u>3,727</u>	12.1%増	<u>3,733</u>	0.1%増
四半期純利益	<u>1,753</u>	59.9%増	<u>2,195</u>	25.2%増

セグメント別の状況は、次のとおりです。

【小売事業】

総合小売業では、平成26年度の経営方針を『お客様満足の実現』とし、「うれしい」があふれる明るく元気な店舗・売場づくり、経営基盤強化に向けたコスト構造の改革、新しい市場機会の開拓を推し進めています。

店舗では、4月にマルシェ事業の2号店として海産物を主体とする「瀬戸内海響市場エフ・マルシェ」(愛媛県松山市)を出店しました。既存店では、「エミフルMASAKI」(愛媛県伊予郡松前町)において、3月から7月にかけて全体の8割にあたる約160店のテナントをリニューアルする大規模な改装を行いました。「フジグラン北島」(徳島県板野郡北島町)においても大型テナントを導入する改装を行いました。さらに、「フジ砥部原町店」(愛媛県伊予郡砥部町)、「フジ伊予店」(愛媛県伊予市)、「フジグランナタリー」(広島県廿日市市)の改装を行うなど引き続き既存店の活性化と収益力向上に取り組みました。また、株式会社エディオンとのFC契約に基づき、第2号店として家電専門店「エディオンフジグランナタリー店」をフジグランナタリー内に新設いたしました。

お客様の多様化するライフスタイルに対応するため、ネットスーパー「おまかせくん」においては、配達エリアを拡大するとともにサービスの拡充を図っています。

昨年より発行を開始した電子マネー機能搭載の新カード「エフカ」において、愛媛県のご協力のもと、県のイメージアップキャラクター「みきゃん」をデザインした新たなご当地カードを発行するなど、新規カード会員の獲得に取り組みました。

また、当社は、7月に株式会社エービーシー及び株式会社スーパーゼットと事業譲渡基本合意契約を締結し、譲受会社として株式会社フジマート四国(完全子会社)を設立しました。これにより、両社が運営する5店舗を譲り受け、9月1日より事業を開始しました。

これらの結果、小売事業の営業収益は2,274億37百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

【小売周辺事業】

総合フィットネスクラブ事業では、株式会社フジ・スポーツ&フィットネスが、当社より事業を承継し、3月より事業を開始しています。地域のお客様に圧倒的に支持され続けるビジネスモデルの構築に取り組んでいます。なお、3月に「フィッタNAVI北斎院店」(愛媛県松山市)を新設しました。

また、青果卸売業を営む株式会社フジ・アグリフーズを第 1 四半期連結会計期間より連結の範囲に含めていません。

これらの結果、小売周辺事業の営業収益は232億17百万円(前年同期比41.1%増)となりました。

【その他】

不動産賃貸業では、引き続き厳しい経営環境で推移しました。また、総合ビルメンテナンス業を営む株式会社フジセキュリティを第 1 四半期連結会計期間より連結の範囲に含めています。

これらの結果、その他事業の営業収益は57億12百万円(前年同期比677.9%増)となりました。

(注) セグメント別の営業収益には、売上高及び営業収入を含め、セグメント間の取引も含めています。

また、記載金額には、消費税等を含めていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末における資産の残高は、現金及び預金が36億87百万円、有形固定資産が45億96百万円増加したことなどにより1,649億30百万円となり、前連結会計年度末と比較し93億44百万円増加しました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金が48億88百万円、短期借入金が40億81百万円増加し、一方で、長期借入金が61億25百万円減少したことなどにより1,003億45百万円となり、前連結会計年度末と比較し57億15百万円増加しました。

純資産の残高は、645億84百万円となり、前連結会計年度末と比較し36億28百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月6日に発表した通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(子会社の設立)

当社は、次のとおり新会社を設立しました。

1. 目的

株式会社エービーシー及び株式会社スーパーゼットが運営する5店舗の譲受会社として、当社全額出資による新会社を設立しました。なお、9月1日より新会社にて事業を開始しています。

2. 設立した会社の概要

- (1) 商号：株式会社フジマート四国
- (2) 事業内容：スーパーマーケット事業
- (3) 設立年月日：平成26年7月14日
- (4) 本社所在地：愛媛県松山市宮西一丁目2番1号
- (5) 代表者の役職氏名：代表取締役社長 永井 信章
- (6) 資本金：50百万円
- (7) 決算期：2月
- (8) 株主構成及び持分比率：当社 100%

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,119	8,806
受取手形及び売掛金	1,201	1,733
営業貸付金	1,521	1,180
商品	11,164	12,689
その他	2,188	2,509
貸倒引当金	△270	△219
流動資産合計	20,924	26,700
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	51,216	50,486
土地	32,197	35,797
その他（純額）	5,941	7,666
有形固定資産合計	89,354	93,950
無形固定資産	6,240	6,008
投資その他の資産		
差入保証金	12,701	11,376
建設協力金	7,463	6,567
その他	18,902	20,329
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	39,066	38,271
固定資産合計	134,661	138,230
資産合計	155,585	164,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 2 月 28 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,258	22,147
短期借入金	14,294	18,375
未払法人税等	1,203	368
賞与引当金	830	1,759
商品券回収損引当金	123	129
その他	10,988	11,175
流動負債合計	44,700	53,955
固定負債		
長期借入金	31,168	25,042
退職給付引当金	1,406	1,457
役員退職慰労引当金	280	307
利息返還損失引当金	685	495
長期預り保証金	11,626	11,220
資産除去債務	2,818	2,882
その他	1,943	4,983
固定負債合計	49,929	46,389
負債合計	94,629	100,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,921	15,921
資本剰余金	16,257	16,257
利益剰余金	25,637	27,819
自己株式	△36	△37
株主資本合計	57,779	59,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,182	4,504
繰延ヘッジ損益	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	3,176	4,498
少数株主持分	-	126
純資産合計	60,956	64,584
負債純資産合計	155,585	164,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	217,013	217,816
売上原価	167,403	167,814
売上総利益	49,609	50,002
営業収入		
不動産賃貸収入	4,769	4,655
その他の営業収入	8,260	7,966
営業収入合計	13,029	12,621
営業総利益	62,639	62,623
販売費及び一般管理費	59,570	59,491
営業利益	3,069	3,132
営業外収益		
受取利息	158	136
受取配当金	187	338
持分法による投資利益	237	238
未請求ポイント券受入額	220	77
その他	497	358
営業外収益合計	1,300	1,150
営業外費用		
支払利息	545	448
商品券回収損引当金繰入額	55	54
その他	41	46
営業外費用合計	643	549
経常利益	3,727	3,733
特別利益		
固定資産売却益	-	10
投資有価証券売却益	42	1,246
特別利益合計	42	1,257
特別損失		
固定資産除売却損	64	196
リース解約損	4	-
減損損失	663	1,144
建設協力金解約及び変更損	3	33
店舗解約損失	16	1
特別損失合計	752	1,375
税金等調整前四半期純利益	3,017	3,614
法人税等	1,263	1,403
少数株主損益調整前四半期純利益	1,753	2,210
少数株主利益	-	14
四半期純利益	1,753	2,195

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,753	2,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,152	1,319
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△5
その他の包括利益合計	2,151	1,314
四半期包括利益	3,905	3,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,905	3,510
少数株主に係る四半期包括利益	-	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。